

小林 久 プロフィール



1962年、山梨県韮崎市生まれ(58歳)

山梨県立韮崎高校、明治大学商学部卒。

2001年株式会社やまと代表取締役就任。

先代からの赤字経営を引き継ぎ、「破綻スーパーの再生」

を軸に短期間で業績を回復。2009年度、家庭生ゴミの循環システムで総務省「ちいき経済賞エコロジー賞」を受賞、山梨県のレジ袋有料化をけん引。

2013年、創業100年を迎え、買物弱者・高齢者向けの店舗展開を加速。

その他、家庭生ゴミの堆肥化（ポイント付与）レジ袋有料化、ピンクリボン自販機、ペットボトルキャップ回収、古紙回収、廃油回収、生活困窮者への食品提供、ホームレスの社会復帰支援、高齢者・身障者雇用（5%）発展途上国への楽器・衣料の送付、災害時に店内在庫が住民の備蓄倉庫として機能する協定等、地域土着の経営を進めた。その経営手法は2010年度中小企業診断士試験の事例問題としても出題される。公職では最年少(49歳)で県教育委員長就任。

2014年ころから大手資本の進出により次第に経営が悪化。3期連続赤字経常も、金融機関の支援や赤字店舗閉鎖・コストカット等により4年ぶりに黒字転換。しかし2017年12月、年末商戦を迎える最中、信用不安による主要取引先からの納品ストップにより営業停止から倒産。自身も自己破産へ。

閉店を惜しむ声が後を絶たず破産処理費用(1,000万円)も地元のカンパで募る。

2018年8月、これまでの恩返し経営の事例と倒産の顛末を綴った著書『こうして店は潰れた～地域土着スーパー「やまと」の教訓～』を(株)商業界より出版。2020年9月同文舘出版(株)より「続・こうして店は潰れた」を出版。

小林久ホームページ <https://www.kobayashihisashi.com>



【絶版本 無料ダウンロード】



「こうして店は潰れた～地域土着スーパー「やまと」の教訓～」